

「たぬきの糸車」

1年生の国語の教科書に「たぬきの糸車」というお話が載っています。

子供のためきが、おかみさんが回す糸車に興味をもち、おかみさんがいないときに、糸車で糸をつむぐお話です。

このお話は、子供のためきの気持ちに共感しながら読み進めるお話ですが、今の子供たちは、糸車を知りません。だから、子供のためきの楽しさが理解しづらく、子供のためきの気持ちに共感することができにくいのです。

しかし、地島小学校には立派な糸車があります。さっそく倉庫から糸車を持ち出しました。吏玖さんは、子供のためきと同様に、糸車を回して楽しみました。吏玖さんと子供のためきの気持ちが重なりました。

「給食感謝集会」

学校給食が始まったのを記念して、毎日、給食を準備していただいている調理員のみなさんに感謝する集会をしました。



日頃、提供されるのが当たり前のように食べている給食ですが、そこには、調理員さんたちの毎日の作業があります。子供たちは、感謝の気持ちをこめて、手作りの寄せ書きを贈りました。また、給食にまつわるクイズを出したり、調理員さんたちに質問をしたりしました。

長年、地島小学校で給食を作り続けている調理員さんたちは、子供たちの好き嫌いだけでなく、子供たちの変化も見守ってくださっています。苦手なものを食べることができるようになった子供への賞賛や励まし、立派に感謝の言葉を言えるようになった成長への驚きなど、子供たちは、調理員さんたちの言葉に耳を傾けました。子供たちと調理員さん、そして給食との距離が、ぐっと縮まった集会でした。

コロナウイルスオミクロン株の猛威は続いています。2月12日(土)に予定していた地島文化祭も延期せざるをえませんでした。そこで、中止になった地島椿まつりの予定日であった3月12日(土)に地島文化祭を行うことにしました。

子供たちは、今、文化祭に向けて、自主的な練習にも力を入れています。目標に向かって行動する子供たちの姿を見ると、感染状況が落ち着くことを強く願わずにはいられません。

「つばきのイラスト」と「椿油のキャラクター」

地島小学校に、市役所の元気な島づくり課から依頼が来ました。地島椿まつりのパンフレットに載せる「椿のイラスト」を描いてほしいという依頼です。

子供たちは大喜び。さっそく、椿を見ながらイラストを作成しました。



※上段左から、楓さん、百花さん、碧さん、吏玖さん
※下段左から 愛海さん、千紘さん、七海さん

それぞれ個性ある椿が7つ咲きました。椿まつりは中止になりましたが、これらのイラストは、何らかの形で生かすということでした。

「地島応援隊」の方から、椿油の販売のために、椿油のキャラクターを描いてほしいという依頼がきました。

冬休みの宿題として各自が描いたキャラクターをもとに、話合い、それぞれのよさを取り入れながら、右のようなキャラクターを完成させました。このイラストに、プロのデザイナーの方が手が加えてくださいます。

地島小学校の子供たちのキャラクターがついた椿油が店頭にも並ぶのを、子供たちは楽しみに待っています。



ネットやゲームについての学習



宗像市のICT支援員の佐々木さんを講師に、スマホやテレビゲームの危険性について話をさせていただきました。

スマホやテレビゲームをしすぎることで、視力の低下や睡眠不足など、健康にまで影響を与えることを学びました。

「おもしろい」「楽しい」ということは、脳が喜ぶ刺激が多いということでもあり、それが長時間に及ぶと、「やめたくてもやめられない」という状況につながります。そこから脱出するのは、とても難しいことです。だから、そうなる前に、使い方(遊び方)のルールをつくり、しっかり守ることが重要です。